

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズソリス灘		
○保護者評価実施期間	2026年12月3日 ~ 2026年12月3日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2026年12月3日 ~ 2027年1月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の内容や日々の支援に関する項目に関して、保護者から満足度の高い評価をいただくことができています。	面談実施前には教室内でモニタリングを実施、指導発達管理責任者が保護者と面談後に支援計画を作成し、職員間で共有を行うことで支援計画に沿った統一した支援を提供することができています。	児童の希望や将来の可能性に繋げられるよう、課題点だけでなく児童の得意なことや強みを活かした支援計画の作成、支援の提供ができるようにしていく。
2	多彩なプログラムで療育活動を実施することができている。	毎月のテーマに合わせて5領域に応じた活動プログラムを全職員で分担し、立案している。 特性に応じて視覚支援やカード、文字表を組み合わせながら個々に応じた支援を実施している。	進学に伴い中学生の児童もご利用されるため、就労や自立に繋がるような活動を実施していく。 集団療育の中でも個々の目的を設定し、児童の特性に応じたより質の高い療育を実施していただけるように努める。
3	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行うことができています。	契約時に重要事項説明書や契約書を用いて、紙面と口頭にて確認をしながら説明を行っている。	管理者や経験年数の長い職員だけでなく、全職員が運営規程や支援プログラム、利用者負担等について把握し説明できるよう研修を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催、保護者同士で交流する機会を設けること。	保護者会は実施できたが上半期のみで開催となったため、当日参加できなかった方や下半期から新規でご利用された方には案内することができなかった。	上半期・下半期に年2回の保護者会を開催できるよう準備をする。 当日参加いただけなかった方にもブログ等を通して保護者会や療育参観の機会を設けていることをお伝えできるようにする。
2	ニュースレターだけでなくブログを通して日々の療育の様子を発信すること。	ブログの作成方法は確認することができたが、ブログの担当職員や更新頻度、内容を検討する時間を確保できていなかった。	月に1回以上ブログ担当の職員を決めて作成時間の確保を行い、月1件以上ブログでの発信ができるようにする。
3	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設けること。	自治体や相談支援事業所等からメールやお便りにて家族等も参加できる研修会のご案内はあったが保護者に周知することができていなかった。	事業所内の取り組みだけでなく、自治体や関係機関が行っている研修等もお便りを配布、案内を行い情報提供を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマートキッズソリス灘
------	-------------

公表日 2026年 3月 18日

利用児童
数 26

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	1	あともうちょっと広がったらいいなと思います	活動内容・状況に応じてスペースを区切り、課題に集中しやすい環境やクールダウンスペースの確保等を行っている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	4		法令上必要な基準人員に加えて、心理専門職員・児童指導員等を配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	0	0	2	活動している様子を見たことがないので	毎日の掃除・玩具の消毒・換気の実施等を通して清潔で心地よい空間の維持に努めていく。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	0	0	0	毎回その時々での子どもの特性に合わせて計画してくださっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0	0	子どもの興味の引く活動を考えて下さっていると思います	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	4	9	8		
保護者へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	4	6	あまりそういう機会を聞いたことがないので	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設けられるよう発信をしていくようにする。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	8	10	以前行っていただいた保護者も参加しての会をスタッフの皆さんの負担にならない範囲でまた行っていただけるとありがたいです。あれば参加したいです。	保護者会を実施したが年1回の開催に なったため、当日参加できなかった 方にも参加していただけるよう次年度 以降も保護者会の開催を実施できるよ うにする。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1	4	通信やプログラム等毎回遅れることなく いただいています。 HPやブログ等で活動報告等があると ありがたいです。	ニュースレターやご利用予定表を毎月 配布することはできている。 ブログでも活動報告ができるよう取 組む。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	0		
	非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	1	5	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	5	プログラムの一環として行われている 認識です。	月1回集団療育の中で避難訓練を 実施している。ご利用日数が少ない 児童は参加の機会が限られるため、 訓練の様子を周知していくように する。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	3		
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	2	今の所そのような事態に遭遇して いません。	
27		子どもは安心感をもって通所していますか。	18	3	0	0		
満 足 度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	5	0	0	通所を毎回楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0	通所を毎回楽しみにしています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマートキッズソリス灘				公表日	2026年 3月 18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		法令上必要な基準人員に加えて、心理専門職員・児童指導員等を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		スケジュール表や座席配置表等を掲示してわかりやすく構造化された環境となるよう工夫をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃を実施している。児童の手の届かない範囲で窓を開けて換気を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個々の状況に応じてクールダウンスペースを確保できるよう工夫をしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表を通して、保護者等の意向等を把握する機会を設け、内容に応じて業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		業務前MTGにて業務面・支援面等、職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		第三者による外部評価があった際には、評価結果を業務改善に繋げられるよう努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		虐待防止研修・階層別研修等の研修を全職員が受講し、資質の向上を図っている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		児童発達管理責任者と保護者が面談を実施。アセスメントした内容に基づいて個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		保護者のニーズや児童の特性を職員間で共有した上で面談を実施している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		保護者のニーズと児童の特性に応じた支援計画を作成し、計画に沿った支援を提供している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎月テーマを設定し、5領域に応じて全職員で分担し、活動プログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		5領域に沿った活動プログラムを実施し半年間は同じ内容の活動とならないよう工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別課題・集団活動に分けて個別支援計画を作成し支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	MTGの時間確保が難しい時には、ノートや送迎表、その都度口頭で伝えること等を通して情報共有・確認の徹底に努めている。	児童の来室時間・業務面の関係上、支援開始前のMTGを実施することが難しい時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		送迎時間や勤務時間の関係上、支援終了後のMTG時間の確保はできていないが、その都度チャットや口頭で気づいた点の共有を実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々療育記録にて、支援計画に沿って記録を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校便りを確認して下校時間や行事の把握をしている。状況に応じて保護者や学校と連絡調整も実施している。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	法人内の中高校生向けの事業所に移行する際には支援内容等の情報提供を実施している。	小学生の児童が多く実施できていなかったが、今後中高生の児童も増えてくる為、卒業後の移行に関して連携した支援を実施できるよう情報提供を行っているようにする。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		児童や事業所の特性から直接的な交流は難しい所もあるが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		法人内の近隣教室から代表者が参加をしている。内容の共有等を全職員に実施できるようにしていく。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		面談や家族支援は実施できているが、家族等も参加できる研修の機会や情報提供は行っていない面もある為、次年度以降に実施できるよう検討をしていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	毎月ニュースレターを発行して次月のご利用予定日や療育内容を発信している。	ブログでの活動報告ができていない為、分担任を行担当職員を決めて月1件以上発信できるように努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約書類・療育記録等、個人情報に関わる書類は鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚スケジュールやイラスト・文字カード等を通して障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		事業所の特性上、地域住民を招待すること等は難しいが、自立支援協議会や子ども部会への参加、地域の作品展への出展等を通して、地域に開かれた事業運営を実施していくようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に紙面と口頭にて、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時に紙面と口頭にて食物アレルギーの確認を行っている。おやつ提供時には複数の職員でアレルギーの有無の確認を実施している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事故や棄権に繋がる可能性のある事例が生じた際にはヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に向けた方策について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				